



広報

かじき

第102号

40. 7. 30 発行

発行所 鹿児島県姶良郡

加治木町役場

発行人 曾木隆輝

編集人 中元邦夫

印刷所 吉屋印刷

全ご家庭に、もれなく配布



◆ 子どもを“水難事故”から守ろう ◆

小、中、高の各学校は7月21日から夏季休暇にいましたが、商家は夏物の売り出しで忙しく、農家も水田の手入れ、畑の中耕、草とり、野菜の出荷と多忙な時期です。

家事をあずかる主婦の仕事も虫干しやら、家族の洗たく物の増加、暑いさかりでの食事と健康に気を配るなど、なかなかたいへんです。

このようなことから、つい子どものことが放任されがちになるようです。夏休み期間は、健康指導、学業指導もたいせつですが、もう一つたいせつなことは、事故防止、交通事故、海や川あるいは山の事故など。一年中でこうした事故のおこるのは、この時期が多いようです。

これから水遊びの季節になりますが、水泳に行かせる時は、必ず場所と時間とグループの名前を聞いておくことがたいせつです。水遊びに限らず登山、ハイキング、などという時でも帰宅予定時間は必ず聞いておきましょう。

町でも連合PTAや、生活指導連絡協議会など、何回となく会が開かれ、特に、水泳時間を守る(きめられた時間に泳ぐ、午後5時にはやめる)帰宅時間を守る(午後6時までには家に帰る)この点が強く申し合わせされましたので、親も充分注意し、町内から水難事故がおこらぬよう心がけたいものです。(写真は水泳前の準備運動……**花城小**プール横でうつす。)

一般予算 一億三千九百一十二万六千四百

定例第2回町議会

特別職の給与等改正

議員報酬値上げ辞退

定例第二回町議会は六月二十一日から二十三日まで開かれましたが、可決された議案のうち主なものについて紹介します。

定例第二回町議会は六月二十一日から二十三日まで開かれましたが、可決された議案のうち主なものについて紹介します。

固定資産評価

審査委員の選任

国民健康保険税条例の一部改正

港町の寺師秀雄氏が任期満了のところで、再選されました。

町税賦課徴収条例の一部が改正されましたが、主なものは次のとおりです。

▲障害者、未成年者、老年者、寡婦の非課税となる所得の限度を、二十万円から二十二万円に引き上げられました。

▲町民税法人税割の税率を百分の八、一から百分の八、四に引き上げられました。(法人税の引き下げに伴って、町民税の減収を避けるための改正)

▲四輪以上の乗用軽自動車の税率を年額三千円から四千五百円に引き上げられました。(自動車税の引き上げに伴う改正)

特別職の給与等改正

職名	月額	旧	新
町長	八〇、四六〇円八四、六〇〇円		
副町長	六〇、七二〇円六四、六〇〇円		
助役	五三、四一〇円五六、一〇〇円		
収入役、教育長	五〇、〇〇〇円		
農業委員会委員長	二、五〇〇円		
同 委員	二、五〇〇円		
教育委員会委員長	四、〇〇〇円		
同 委員	二、五〇〇円		
特別会計補正予算	三、〇〇〇円		
道路維持費	二、三三万五千円		

一般会計と上水道

一般会計八七一萬一千円のうち主なものは次のとおり。

財政調整積立金 二五〇万円

道路整備事業費 二五〇万円

道路維持費 二、三三万五千円

議会議員の報酬引き上げ辞退

議長以下の報酬改正案は上程されるまでに、辞退され、今回は見送ることになりました。

なお、特別職の給与等の改訂については、さきに特別職報酬審査会が設立され、広く民間からの意見を聞くことになり、その審査会の答申に基づいて改正案が提出されたものです。

陳情 請願 採択になつたもの

▲辺川地区代表者提出の「国鉄バス車庫新設に対する補助金交付について」

▲垂之口部落より提出の「部落公民館建設助成金交付について」

▲塩入地区代表者提出の「し尿処理場の設置候補地変更についての請願」は、現在衛生処理組合の管理者が請願地区民と話し合い中であり、さらに調査研究の必要があるため。

閉会中の継続審査事項

▲町婦人会提出の「町立幼稚園設立についての請願」は、加治木幼稚園との関係があり、さらに関係者を招いて事情を聞く必要があるため。

▲町医師会提出の「眼科医萩原隆子氏の公務傷害に対する見舞金交付についての陳情」は、国家賠償法による賠償金請求との関連もあるため、さらに審査検討を要する。

▲加中PTAより提出の「加中校舎建設促進に関する陳情」は、財源の見通し等について、さらに調査検討を要するため、それに閉会中の継続審査となりました。

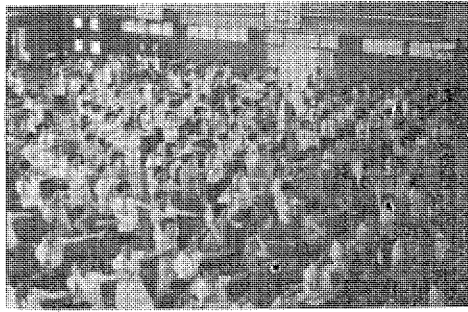
世帯人口の動向

(昭和40年7月1日現在)

世帯数	5,374
人口	19,650人
男	9,196人
女	10,454人
6月中の自然増減	
出生	18
死亡	15
転入	60
転出	119

新刊紹介

幸福さん、女に吹く風、パノラマ島奇談、昼なき男、紅梅行燈、花は咲かず、ホープさん、サラリマン忠臣蔵、ジャンケン娘、課長一番槍、はやぶさ奉行、旋風三四郎、花に吹く風、化粧の町、いなづま三四郎、恐妻さん、月と手袋、社長の優勝旗、三色娘、わが町の物語、君と行く途、緑なる人、仮面の花嫁、清らに咲ける、母子草、自殺の部屋、乾杯東京娘、東京暗黒街、湖底の因人、愛を誓いし君なれば、若い樹、柳生旅日記、花の真実、二階堂万作、傍若無人剣、タックル社員、青空浪人



470名が集まり 社会体育レク講習会

フオークダンス、
「八木節」

このレクリエーション講習会は毎年県下七会場で開催されており、今年のは、加治地区会場は、加治木中学校屋体につき、さる七月二十一日午前十時から県教委と町教委が共催して盛大に開かれました。

この講習会のねらいは、明るく楽しい、文化社会をつくるために毎年実施され、健全なレク活動の普及をはかろうというもので、内容は、八木節、ドミニク（フオークダンス）、薩摩義士の三

集った四七〇名余りの婦人会、青年団、職場代表は、県社会教育課福満綾子先生の指導で熱心に受講し、盛大に終わりました。

なお、この民謡は、きたる九月十八日開催される県民体育大会当日鴨池会場で披露され、さらに、町の婦人会によって町内の小、中学校運動会や町民体育祭で披露されます。

「ドミニク」
（フオークダンス）



家庭の日は 8月15日です 子どもを中心に 家族だんらん の日を

献本運動

ご協力に 感謝します

さる五月十九日、本町に、心に火をたく献本運動推進会が結成されましたが、この運動の趣旨にご賛同いただき、たくさんの方々から多額のご寄贈を賜りました。ご芳志に対し、心から厚く感謝申し上げます。

この運動は現存実施中でありまして今後引き続き行なうことになっておりますので、一人でも多く、ご協力くださるようお願いいたします。

献本者（図書購入費を含む）

- ◆町内
- 一金壹千円也 竹下部落PTA
- 一金壹千円也 永原中学校教職員一同
- 一金貳千円也 飯屋町三七
- 一金参千円也 本町一四一
- 一金五百円也 木田西ノ原
- 一金壹千円也 反土田中
- 一金壹千円也 錦江町五一
- 大井千尋
- 白尾国男
- 稲田 進
- 大川吉春
- 曾木隆輝

- ◆町外
- 一金五百円也 壹岐平一郎
- 大金五百円也 大口市里一九八六
- 一金五百円也 大口市忠元住宅二二号
- 一金貳千円也 藤崎 武
- 鳥栖市藤木町二二六五
- 倉敷市寿町二〇〇
- 横谷律子
- 岡山 弘
- 川内市御陵下町五〇八一
- 堺町大美野二〇
- 市来政治
- 入部泰藏
- 神戸市東灘区本山町田中
- 前原昭義
- 東京都北多摩郡那賀町岩戸
- 中摩 秀
- 東京都板橋区上板橋三ノ五
- 大迫善藏
- 東京都中央区日本橋馬喰町
- 二見 弘
- 阿久根市赤瀬川六二五
- 川上暢夫
- 久子
- 福岡市香椎香住ヶ丘三丁目
- 十六の二五
- 堀 秀
- 大阪府豊中市岡上の町二の
- 一五八
- 野中蘇人
- 川崎市下作延三三協栄生命
- 溝ノ口社宅
- 矢野篤藏
- 東京都北多摩郡久留米町前
- 沢一五二〇
- 本田 一
- 東京都渋谷区神南町二五
- 兄玉 篤
- 大阪市西区長堀南通一の二
- 北上ひろこ
- 始良町 東
- 園田静夫
- 横浜市鶴見区市場町一七四



(写真は第一投票所投票風景)

不振を懸念された参議院選挙も終盤になって、関心が高まり、本町の投票結果は次のとおりで、前回に比し、平均で四、三二%も上回り、まず、の成績だったといえましよう。

投票率の向上目立つ

前回は四、三二%上回る

参議院選挙投票結果

参議院選挙投票率 40.7.4執行

投票区	投票所	有権者数	投票者数	男女別投票率		平均投票率	前回投票率	
				男	女		男	女
1	町役場	男	1,576	76.71	75.57	75.10	71.79	73.42
		女	2,058	73.86	71.59			
2	性応寺	男	650	74.92	71.46	75.31	71.59	71.52
		女	877	75.60	71.46			
3	錦江小	男	1,195	74.14	68.02	70.72	62.73	64.93
		女	1,664	68.27	62.73			
4	永原小	男	332	78.61	68.38	70.19	47.29	57.11
		女	386	62.95	47.29			
5	雑場分校跡	男	112	61.61	64.46	58.37	52.27	58.10
		女	121	55.37	52.27			
6	鎮守小	男	166	75.30	73.45	71.83	62.32	67.45
		女	189	68.79	62.32			
7	竜門小	男	591	54.15	56.05	48.78	41.22	48.17
		女	680	44.12	41.22			
8	中野小	男	160	59.38	48.24	53.01	41.53	44.76
		女	172	47.09	41.53			
合計	合計	男	4,782	72.19	68.68	69.47	62.40	65.15
		女	6,147	67.35	62.40			

前回に比し、投票率の伸び 平均 4.32

効を奏したものと見えるでしょう。しかしながら、県平均七三、〇四%にはまだまだの感がありますので、これを機会に一層政治への関心を高め、今後の選挙には、さらに好成績をあげたいものです。

就職は安定所を通じて

各種の援助が受けられる

最近災害や農産物の値下がり等による離農、不況産業からの退職等で転職を余儀なくされる中高年齢者や世帯主が多くなっており、そのような場合には、是非職業安定所に申し出て、安定所を通じて就職するよう望まれています。

安定所を通じての就職には、次のような援助があります。

- 就職先の住居を世話する
- 県外就職者で就職先事業所の社宅等がない人には、雇用促進事業団アパート(鉄筋、二周、ガス、ふろ付)を貸与する。
- 移転資金を支給する
- 県外就職のため住居を移転するときは、その距離に応じた移転料(単身者は半額)と汽車賃(一諸に行く家族の分も出る)を支給する。

例)鹿兒島市から大阪に就職する場合単身者で八、九八〇円、家族一名と共に就職の場合一八、五〇〇円。

- 就職資金を貸付ける
 - 家族の有無、就職後の収入等によって三万円まで就職資金を貸付ける。返済は二ヶ月すえ置きで二〇か月以内の均等払い。
 - 身元保証もする
- 身体障害者や三五歳以上の人で

身元保証人の無い人は身元保証(三年以内)をする。
● その他手当をもらって職業訓練が受けられる。
さらにくわしいことは、役場経済課か職業安定所で説明します。

郡内青年体育大会

例年開かれていた郡内青年体育大会は、青年相互の融和親睦と仲間意識を深める目的で、きたる八月八日(日)午前九時から加治木高等学校で開かれる。種目は、陸上、バレー、ソフトの三種目。
加治木町青年団もこれに参加するが、毎日午後六時から優勝を目指し、猛練習中。

納税にご協力を

8月の納税

町民税2期と国保の2期分です。

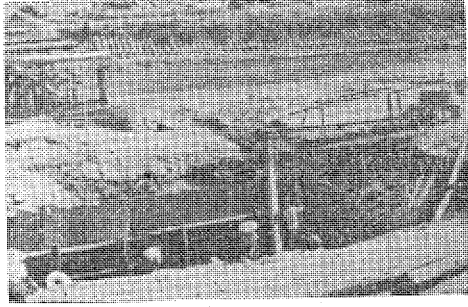
納期~8月31日までです。

失対事業場紹介 ③

春日橋かけかえ工事

町内の橋がつきつきと鉄筋コンクリートの永久橋にかけかえられていきますが、今年には春日橋と小山田の高崎橋が予定され、春日橋は、目下橋脚の床堀り作業が、失業対策事業で作業員約十五名によって進められています。
なお、本年度は橋脚だけの予定です。

「春日橋かけかえ工事」



地区 10代以上男子ソフト大会

吉原チームが優勝

健康の増進と協調性ある明るい豊かな人づくりを目標に、地区対抗10代以上男子ソフトボール大会は、去る七月二十五日(日)午前九時から、加中グラウンドで十四チームが参加し、炎天下盛大に行なわれました。成績次のとおり。

- △一回戦(Aグラウンド)
 - 柁城一地区(吉原) 310 竜門地区(追)
 - 柁城二地区(柁街) 514 木田地区(浜村)
- △二回戦(Aグラウンド)
 - 柁城三地区(柳田) 811 中野地区
 - 柁城二地区(港町) 110 竜門地区(西元)
 - 木田地区(須崎) 814 錦江地区(塩入)
 - 永原鎮守地区(永原) 311 柁城三地区(春日)
 - 二回戦(Aグラウンド)
 - 吉原117 錦江地区(岩原)
 - 柁街413 柳田

- (Bグラウンド)
 - 港町413 柁城一地区(新道)
 - 永原413 須崎
 - △ 準決勝戦(Aグラウンド)
 - 吉原514 柁街
 - 永原711 港町
 - △ 決勝戦
 - 吉原1517 永原

八月九日社会体育行事

△ 部落体育委員及び町三役、議長、教育長、スポーツ関係委員親善ソフトボール大会(八月一日柁城小学校庭で)

△ 地区対抗小中学生女子ソフトボール大会(八月十二日加中グラウンドの予定)

△ 少年一般剣道大会(柁城小講堂 八月二十二日午前九時から)

△ スポーツ教室(少年団対象)

① 庭球コース(七月二十四日から八月十二日まで)加高コート

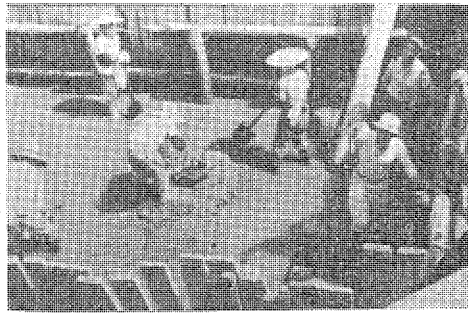
② 卓球コース(八月四日から八月十九日まで)柁城小講堂で

△ スポーツ少年団リーダー野外(キャンプ)活動(八月月上旬)キリンシマ高原で

△ スポーツ教室(婦人バレーボール)八、九月の期間に開設の予定ですので、希望の方は、すんで参加ください

△ 地区対抗婦人バレーボール大会(九月十二日加中体育館の予定)

△ 地区対抗10代以上男子ソフトボール大会(九月二十六日)加中グラウンドの予定



「春日橋床堀り作業」

太鼓踊りは

8月16日と

17日の2日間

郷土民芸として親しまれている今年の太鼓踊りは、盆明けの八月十六、十七日の二日間にあたり、大に行なわれます。

第一日目が小山田、西別府地区

自衛官募集

自衛隊は、わが国の平和と独立

を守るところです。ここに勤務する若い人々は、国を守るという誇りをもって心身をきたえ、いろいろの技術を身につけて、自衛官として、また社会の一員として活躍に育ちつつあります。

自衛隊では、ただいま次の要領で隊員を募集しています。志願の手続きその他くわしいことは役場住民課におたずねください。

△二等陸海空士 常 時

△防大学生 九月十時

△航空学生 右 同

△看護学生 右 同

△自衛隊生徒 右 同

△幹部候補生(衛生) 五月八月

このほか医科幹部、技術幹部、曹、衛生、技術貸費学生、婦人自衛官、予備自衛官などがあります。

農業構造
改善事業

と取組むグループ

みかんの産地化を目指して

永原果樹振興会

加治木町では、農業構造改善事業の基幹作目に「温州みかん」と「鶏卵」を中心に、その事業を実施することとし、現在事業をすすめていますが、みかんの集団化、産地化を目指して活動しているグループのうち永原果樹振興会を紹介することにしました。

原稿は、同会の東輝男さんから寄せられたものです。

現在の農村においては働き手が非常に不足しているといわれています。特に、一番働き盛りの三十年代、四十代の人々が県内はもちろんだ、県外にまで出稼ぎに行き農村に残って働くのは、女と老人と子どもだけだといわれます。すなわちカーチャン農業というのがこれです。

ところが、家族を残した県外への出稼者が一人もなく、新しい農業、明るい農村の建設に手に手を取り合って励んでいる仲間があります。それは私達の永原部落であります。そこに住む果樹振興会の人々です。以下、私達の果樹振興会につきまして、その活動状況を紹介します。

私達の永原果樹振興会は、昭和三十六年四月に発足し、現在会員

数が十五名です。うち三十年代十名、四十代が三名、五十代が二名となっていて、三十年代が全体の三分の二を占めています。また、部落の総農家戸数の約三分の一が会員です。私達のグループの会に見える諸先生方は、この部落は若い人達がそろっていると良くいわれ、私達はみかんと主幹作物に取り上げているグループなのです。

では、私達が何故みかんと主幹作物に取り入れたかという事を少々述べてみましょう。皆様もご承知のように私達の部落は昔からそ業作の非常に盛んな所で、現在も相当作付されています。しかしながら、交通の便が良くなるにつれ、どんな遠い所からでも大量に出荷されるようになり、新興地で作る関係で品質も非常に良くなってきました。出荷の増大に伴って、価格は七、八年前と少しも交らない。むしろ今の方が安くいらぬです。そこで、私達は考えました。先ず第一に私達の所のように耕地の少ない所において、普通野菜をいくら作っていたところで、所得倍増どころではない。何か経営形態を変えて行かねばと話し合っ

て、売れる条件を備えた商品価値

の高い、そして大量生産ができ、なおかつ、私達の部落に適した作物であるということで、みかんにふみきったわけでありました。

第二に食糧事情がよくなり国民の消費生活や農業に対する政策が畜産や果物に向けられたという事です。第三に本町の農業改善事業にみかんが取り上げられたという事です。

以上のような考えのもとにみかんを植えつつありますが、みかんは一尺でいくら作ってもだめで集団化、産地化、共同化しなければいけないといわれます。そこでグループを結成したわけですが、現在会員のみかん植付面積はまだだ少なく、一戸平均三、五アールくらいです。しかしながら、仮植中の苗もありますし、年々増殖しつつあり、将来は町の農業改善事業とも関係しますが、一戸平均一ヘクタールぐらいたっては持つて行く計画であります。

では、このグループの活動状況を話してみましよう。先ず三月に総会を開き、年間の主な活動の計画を立て、予算、決算は勿論の事過去一年間の反省も行ってあります。また、毎月十日に定例会を開き、情報の交換、技術の研究のための話し合いをします。そして夏秋には講習会を開き、その時期に応じた勉強を行なっております。この講習会には夫婦そろって出席することにしています。毎年十月には先進地の視察を町の振興会の方々と一諸に行なっていて、昨

年は熊本県の河内まで行きました

また、講習会や研修会には積極的に参加し、現在までに中堅農家研修所へ三名、農業自営者研究へ五名、冬期大学へは今年五名を送りましたので、会員全部が一回ないし二回受講した事になります。

次にみかんに必要な園芸用具は全部共同で購入し、病害虫の発生した時は、三台の動粉により共同防除を行なっております。出荷面については、現在は植付面積も狭く、幼樹が多い関係で、共同出荷は行なっておりませんが、将来は農協の一元集荷にもって行きたいと思っております。これらの活動をする為の資金はどうなっているかといえますと、会員の負担金が月に五十円、積立金が月に二百円それに預金利子と外部からの助成金などによってまかなってあります。

私達のグループ活動は去る二月栗野町の栗野小学校で開かれた始良伊佐地区農村三作運動推進大会の方々から非常に初め、関係機関の方々に非常におほめの言葉をいただいたわけでありました。そしてこのほど知事さんから賞金と賞状をいただきました。この事実をみていかに私達のグループ活動が活発であるかということがおわかりかと思えます。私達はこの知事賞を手にする前に、去る十七日に町長さんを初め役場、農協、普及所の関係者の皆様をお招きしてその反省会を開き、併せて新年度の計画を検討し、より良いグループの育成に努力するよう話し合

ったわけでありました。



社会福祉協議会へ

- 一金五千元也 有馬清一殿
- 港町 池田クマ殿
- 一金参千元也 前田為雄殿
- みろく 諏訪町
- 一金貳千円也 岩原 築瀬 彰殿
- 一金参千元也 西ノ原 吉村清蔵殿
- 一金貳千五百円也 港町 福里増右エ門殿
- 一金貳千円也 本町 木佐木シズ子殿
- 一金貳千円也 下新道 後野フジ殿
- 一金三千元也 朝日町 松田ソノ殿

おことわり

前号(二〇一号)で、社会体育地区役員を紹介しましたが、次の方が掲載もれになっておりましたので、ここにお記びして紹介します。
△永原鎮守(永原地区)
委員長(山下 初)
副委員長(中迫敬蔵)

次にグループ活動の成果をみてみますと、第一に今までに個々ばらばらで行なっていた薬剤散布が共同防除の体制が出来てきた。第二に研修、講習会など学習の活動によってみかんの知識や技術の向上が得られました。第二に夫婦で学ぶ関係で、みかんの仕事や、外の仕事に張り合いがあり、楽しみが出て来たなど、得る所が大であります。一方、運営や活動上困っている問題点もたくさん出てきます。例えば、各人の園がちらばっているため、共同防除の施設が出来ない事などがあげられます。

また、グループ集団としての活動上の問題点もあります。第一にグループ員の経営が複合型が多く、一人で二つ以上の集団に加入しているため充分な活動ができない。第二にグループ員の主幹作目の規模が小さいため、みかんの仕事に専念できない。第三に、グループに良いリーダーが少ない事と、運営資金に乏しい事などがあげられます。

以上のように色々の問題が山積し横たわっておりますが、私達グループの者は、この問題をいろいろな研修会や、講習会等に積極的に参加し、より高い技術と教養を身につけ、一つづつ解決して行きたいと懸命に努力しています。みかんは他の作物よりも、より高い技術を必要とします。技術を習得する場はたくさんあります。例えば、現在開放されている自営者研修などは、最も身近な、しかも月謝もいらぬ誰れでも入校できる

学校として有意義だと思えます。これは、農業の各分野に別れて、それを専門的にかつ、長期にわたって研修する場として過去に農業自営者の長期研修の学級がなかった事も相まって非常に喜ばれております。

私も昨年度果樹部門で学習しましたが、教えてくださる先生方も熱心だし、講習内容も非常に充実しています。学問で学んだ事を、今度はホ場に行つて、そこで実習し、また郡内至る所から集まる関係で他町村のこともよくわかり、皆と共にホ場を視察したり、新植のこことや集団化の事、或は流通面のことまで話し合い得る所大であります。この学級は農業の事ばかりでなく、生活改善や花嫁学級もありです。皆様方も一度は入所されることをおすすめていたします。私達のグループからは昨年三名今年二名を送っております。

さて、ただいま、私達の部落から隣の曲田部落にかけて至る所にみかんが実をいっばいつけています。園に一歩足を踏み込めば、なすともいえない感じです。このみかんをみただけでも、冬の間苦勞した事など一べんに吹き飛んだような気持ちになります。この秋には緑のみかん園に花のような黄色いみかんがいっぱいなることでしょう。しかしながら、まだ面積が少なく産地として名を得るためにはまだ、努力しなければなりません。私達グループは、すでに仲間作りはできています。次に作物

町職員バレーボール大会 経済課チームが優勝



かんを大量に生産し、出荷して、自分の生活をうるおすことです。そろそろ実績を現わさないかぎり私達の部落外の人達はついてこないとします。私達が物作りに精出し、実績を挙げることによって皆がついてく

この日町長は、NHKテレビ番組「郷土を語る」に出演した際の出演料で優勝カップを寄贈、このカップを得んものと競技にも熱が入り、好プレー、珍プレー、続出の末、経済課チームと税務課チーム

町役場では、職員の親睦とつゆ明けの体調を整えるため、去る七月十七日(土曜)の午後、加中屋体で各課、事務局対抗(八チーム)と三役、課長対女子職員のバレーボール大会を行いました。

**時間を守る運動を推進
町連合PTAが提唱**

町連合PTAでは、さきほど加治木中学校で総会をひらき、規約の一部改正や夏休み対策について協議したあと本年度の努力目標について話し合った。その結果、町連合PTAが中心になって、時間を守る運動を町内に広く提唱して、この運動の徹底をはかることを強く申し合わせました。PTAの会合はもちろん、各組織団体が会合をひらく場合、開会時間一〇分前に集合するなど創意工夫し、きまつた時間に会がひらかれるよう、集める方も、集まる方もお互い時間を守るように心がけたいものです。

で優勝を争い、二対〇で経済課が初の優勝カップを獲得しました。一方、三役、課長対女子職員は助役、収入役の健斗もあって、三役、課長チームが勝を収め、所期の目的を充分果して、六時過ぎ散会しました。(写真はその一コマ)



後藤塚

史跡 ④

史跡めぐり

元和五年(三百四十六年前)英傑第十七代藩主島津義弘公が、加治木において死去されたことは既報のとおりですが、このとき公の後を慕って殉死した藩士十三人中の一人山路後藤兵衛種清の墓です。種清は帖佐の人で、当日は自宅菜園の手入れをしていましたが、公の悲報を受けるや直ちに身仕度を整え、かねて決意していた同友七士が待つ実窓寺川原へ急いだのです。

しかし、馳せつける途中、湯湾岳の麓まで来たとき、既に同友の割腹殉死のすんだことを聞き、公には申し訳なく、同志には約したことの果し得なかつたことを詫び即刻その場で種清は死にぞみ村人に次のように遺言したといひます。

「死体はここに埋めよ、そしてこの石を立てよ、これから冥途に行くが、主君と同友の土に会うことができたらの墓石が三つに折れるだろう」と。

現在、町教育委員会が史跡として指定し、保護管理に努めております。

この後藤塚は、西岩原部落から北西に延びる県道にそって

約一軒日豊本線の踏み切りをとおつてみろく部落の入口、湯湾岳の山裾にひっそりと鎮まっております。

国道を走るバスガイドが、後藤塚の由来を説明していることを考えても、如何に後藤兵衛種清たちの精神が尊いものであったかがしのばれるようです。

墓石は遺言のとおり三つに折れ

県身障者体育大会に参加して

町身体障害者会長 鶴田義直

第三回鹿県身障者体育大会は、七月十一日鹿兒島市の鹿大総合グラウンドで開かれ、陸上、卓球、水泳、相撲の四種目に熱戦が展開された。

県下十九市郡から集った選手団五百八十名が入場すると、車イスを使う人、松葉杖の人、目の不自由な人、集った観衆千六百名よりわれるような拍手がおくられた。

森脇大会長(鹿県民生労働部長)のあいさつについで、鹿兒島市の池田勝彦さんが選手団を代表して力強く宣誓した。

当町よりも十五名の選手を送り各種目にまじめに健闘して好成績で入賞しました。この大会に参加できたことは、町当局及び町民の皆様方の絶大なる御厚情によるものと厚くお礼申し上げます。

「盛岩陵雪居士」と刻してあります。

現在種清の末孫として始良町上麓部落に山路ミネさんがおられます。山路さんは種清に対して出された藩制時代の古い手紙類(古文書)をたくさん保管され、山路家の祖として誇りをもっておられ、町教育委員会とともに後藤塚の清掃管理をつづけておられます。

協会も今後、身体障害者の自立更生、社会福祉の向上に一層の努力をする考えであります。

当町選手団の成績は次のとおり

- 陸上男子
 - 百m 一位 大山一男
 - 棍棒投 二位 川崎鉄男
 - 立市跳 三位 川崎鉄男
 - 砲丸投 三位 福森信夫
 - ソフトボール投 三位 児玉実憲
- 卓球(体かん障害の部)
 - 一位 中原茂晴
 - 二位 鶴田義直
 - 三位 鶴田義直
- 陸上女子
 - 六十m 二位 徳永フジエ
 - ソフトボール投 二位 徳永フジエ

新築住宅の固定資産税 申告で半額を3年以上減税

昭和三十八年一月二日から四十四年一月一日までに新築された住宅と、昭和三十九年一月二日から四十四年一月一日までに新築された中高層耐火建築物の住宅は、町長に申告書(税務課に備え付けの様式)を提出することになります。

これらのうち、住居部分の床面積が八十五平方メートル以下の建築物は、固定資産税額の二分の一を三年度分(二階以下)又は五年度分(三階、四階)、十年度分(五階以上)に限り減額されますので、該当者は、もれなく申告してください。

なお、土地や建物に異動があったときは、できるだけ早く、税務課にご連絡ください。

そうすることが皆様の固定資産税を正しく公平に課税できる基となります。

正しい申告 適正な課税